

# 未来へ飛躍するグローバル人材の育成

## - グローバル人材育成のための大学の国際化と学生の双方向交流 -

### 1. 大学教育のグローバル展開力の強化

H26予定額:12,702百万円(H25予算額:9,662百万円)

#### (1) 大学の体制の国際化

「スーパーグローバル大学等事業」 予定額:9,900百万円(新規)  
我が国の高等教育の国際競争力の向上とグローバル人材の育成を図るため、国際化を徹底して進める大学を重点支援

##### ●「スーパーグローバル大学創成支援」

予定額:7,650百万円(新規)、  
30件(トップ型10件/グローバル化牽引型20件)(H26-H35)

##### ●「経済社会の発展を牽引するグローバル人材育成支援」

予定額:2,213百万円、42件(H24-H28)  
(「グローバル人材育成推進事業」(H24採択)を組み替えたもの)

#### (2) 教育プログラムの国際化

「大学の世界展開力強化事業」  
予定額:2,784百万円(H25予算額:2,813百万円)、5年間財政支援  
質の保証を伴った学生の双方向交流プログラムの開発・実施

##### ●「キャンパス・アジア」中核拠点 形成支援(H22-H26:6件、 H23-H27:10件)

##### ●米国大学等との協働教育 創成支援(H23-H27:12件)

##### ●ASEAN諸国等との大学間 交流形成支援 (H23-H27:3件、 H24-H28:14件)

##### ●海外との戦略的高等教育 連携支援

・AIMS(H25-H29:7件)  
・ICI-ECP(H25-H29:2件  
H26-30:4件(新規))

##### ●ロシア、インド等との大学 間交流形成支援(新規) (H26-H30:6件)

### 2. 大学等の留学生交流の推進

H26予定額:35,520百万円(H25予算額:33,546百万円)

#### (1) 大学等の海外留学支援制度の創設等

8,594百万円  
意欲と能力のある若者全員に留学機会を付与し、世界で勝てる真のグローバル人材を育成するため、奨学金の拡充により留学経費の負担軽減を図るとともに、大学、企業等との連携による研修の実施等、日本人学生等の海外留学をきめ細かく支援する官民が協力した新たな制度を創設する。

##### ●大学等の海外留学支援制度の創設

8,514百万円

<長期派遣> 200人 → 250人  
<短期派遣> 10,000人 → 20,000人  
<短期受入れ> 5,000人

##### ●日本人の海外留学促進のための広報活動等(新規) 80百万円

#### (2) 優秀な外国人留学生の戦略的な受入れ

26,926百万円  
留学生30万人受入れを達成するため、奨学金等による支援を行うとともに、重点地域等への留学コーディネーター配置、現地での入学許可を出す仕組みづくりの促進及び「地域戦略枠」の創設等により優秀な外国人留学生の戦略的な受入れを促進する。

##### ●留学コーディネーター配置事業(新規)

90百万円

##### ●受入れ環境づくり

25,015百万円

・国費外国人留学生制度 11,260人  
・文部科学省外国人留学生学習奨励費 7,785人  
・大学等の海外留学支援制度の創設<短期受入れ>【再掲】 5,000人

##### ●大学等のグローバル化の推進【再掲】

・スーパーグローバル大学等事業 等

## スーパーグローバル大学等事業

平成26年度予定額 99億円【新規】

スーパーグローバル大学創成支援(トップ型:420百万円×10件、グローバル化牽引型:172百万円×20件)

経済社会の発展を牽引するグローバル人材育成支援(全学推進型:80百万円×11件、特色型:43百万円×31件)

我が国の高等教育の国際競争力の向上及びグローバル人材の育成を図るため、世界トップレベルの大学との交流・連携を実現、加速するための新たな取組や、人事・教務システムの改革、学生のグローバル対応力育成のための体制強化など、国際化を徹底して進める大学を重点支援。

#### 1. スーパーグローバル大学創成支援(30件、77億円)

我が国の高等教育の国際競争力の向上を目的に、海外の卓越した大学との連携や大学改革により徹底した国際化を進める、世界レベルの教育研究を行うトップ大学や国際化を牽引するグローバル大学に対し、制度改革と組み合わせ重点支援を行う。

##### ○トップ型

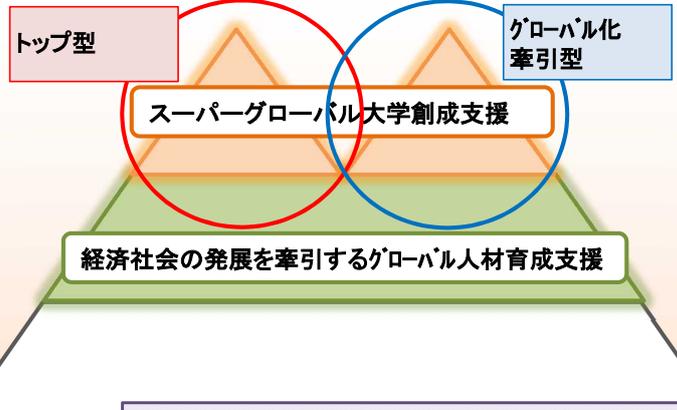
(10件)

:世界ランキングトップ100を目指す力のある大学

##### ○グローバル化牽引型

(20件)

:これまでの実績を基に更に先導的試行に挑戦し、我が国社会のグローバル化を牽引する大学



##### (制度改革例)

・外国大学とのジョイント・ディグリープログラムの開発・実施  
・海外キャンパスの展開 等

##### (ベースとなる要件)

・学生及び教員の外国人比率の向上  
・英語による授業の拡大  
・成果指標の設定と徹底した情報公開 等

#### 2. 経済社会の発展を牽引するグローバル人材育成支援(42件、22億)

経済社会の発展に資することを目的に、グローバルな舞台に積極的に挑戦し世界に飛躍できる人材の育成を図るため、学生のグローバル対応力を徹底的に強化し推進する組織的な教育体制整備の支援を行う。

##### ○全学推進型

(11件)

:大学全体で目標の達成を目指す大学

##### ○特色型

(31件)

:一部の学部・研究科等で目標の達成を目指す大学

# 大学の世界展開力強化事業

平成26年度予定額 28億円  
(平成25年度予算額 28億円)

大学教育のグローバル展開力の強化を図るため、アジア・米国・欧州等、我が国にとって戦略的に重要な国・地域との間で、質保証を伴った日本人学生の海外留学と外国人学生の受入を推進する国際教育連携の取組を支援。

## 新規事業

### ●ロシア、インド等との大学間交流形成支援 (H26新規採択 58百万×6件)

ロシア、インド等の大学との高等教育制度の相違を超えた、質保証の共通フレームワークの形成に加え、将来の日露・日印関係を見据えた産学連携の取組等を実施する、架け橋となるリーダー人材育成のための教育連携プログラム。

## 継続事業

### ●「キャンパス・アジア」中核拠点形成支援

日中韓政府が共同で策定するガイドラインに沿って、単位相互認定や成績管理、学位授与等を共通的な枠組みで行う協働教育プログラム(H22採択 57百万円×6件、H23採択 49百万円×10件)

### ●米国大学等との協働教育創成支援

米国等の大学との教養教育の共通基盤の育成、E-learningの活用による協働の専門教育の開発、ダブル・ディグリープログラムの拡充等、新たな学びのスタイルによる協働教育プログラム(H23採択 49百万円×12件)

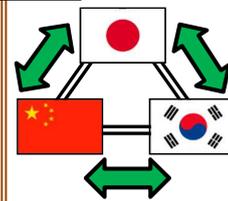
### ●ASEAN諸国等との大学間交流形成支援

ASEAN諸国等の大学との高等教育制度の相違を超えた、質保証の共通フレームワークの形成や教育内容の可視化等、アジアにおける先導的なモデルとなる大学間交流プログラム(H23採択 49百万円×3件、H24採択 41百万円×14件)

### ●海外との戦略的高等教育連携支援

欧州連合、東南アジア教育大臣機構等との共同による国際的な高等教育連携枠組みのもとでの戦略的な教育連携プログラム(H25採択 38百万円×7件(AIMSプログラム)、H25採択 3百万円×2件 H26新規採択 3百万円×4件(ICI-ECP))

### 事業例①



「キャンパスアジア  
中核拠点形成支援」  
:三か国の大学が  
コンソーシアムを  
形成し、学生交流  
を実施

### 事業例②



「ASEAN諸国との大学間交流形成支援」  
:日本とASEANの大学による先導的交流プログラムの開発・実施

## 大学の世界展開力強化事業 –ロシア、インド等との大学間交流形成支援–

平成26年度予定額 3.5億円【新規】  
(58,250千円×6件)

### 概要

ロシア、インド等の大学との高等教育制度の相違を超えた、質保証の共通フレームワークの形成に加え、将来の日露・日印関係を見据えた産学連携の取組等を実施する、架け橋となるリーダー人材育成のための教育連携プログラムを支援。

「グローバル人材」を目指す意欲ある学生の相互交流

異文化理解の促進、語学・コミュニケーション力の向上、日本人としてのアイデンティティーの確立

### 【取組例】

- ✓先導的・大学間交流モデルの開発
- ✓高等教育制度の相違を超えた質保証の共通フレームワークの形成
- ✓単位の相互認定、共通の成績管理の実施
- ✓学修成果や教育内容の可視化
- ✓日露・日印の経済連携強化に資する産学連携プログラムの構築

海外大学での学修成果は自大学の単位として認定

交流分野:IT、工学、海洋、資源、環境、原子力、宇宙、日本語・日本文化等

# スーパーグローバル大学等事業

( 新 規 )

平成26年度予定額：99億円

国際化拠点整備事業費補助金

## 背景・課題

- 社会の多様な場面でグローバル化が急速に進む中、世界各国がそれぞれ自国の成長を牽引する高等教育の充実を図っており、我が国の大学の世界におけるプレゼンスの向上や、グローバル人材育成のための体制強化が急務。

## 対応・内容

### 【対応】

- 我が国の高等教育の国際競争力の向上及びグローバル人材の育成を図るため、世界トップレベルの大学との交流・連携を実現、加速するための人事・教務システムの改革や、学生のグローバル対応力育成のための体制強化など、国際化を徹底して進める大学を重点支援。

### 【内容】

- スーパーグローバル大学創成支援 77億円【新規】

420,000千円 × 10件

172,500千円 × 20件

我が国の高等教育の国際競争力の向上を目的に、海外の卓越した大学との連携や大学改革により徹底した国際化を進める、世界レベルの教育研究を行うトップ大学や国際化を牽引するグローバル大学に対し、制度改革と組み合わせ重点支援を行う。

- 経済社会の発展を牽引するグローバル人材育成支援 22億円

80,000千円 × 11件

43,000千円 × 31件

経済社会の発展に資することを目的に、グローバルな舞台に積極的に挑戦し世界に飛躍できる人材の育成を図るため、学生のグローバル対応力を徹底的に強化し推進する組織的な教育体制整備の支援を行う。

※「グローバル人材育成推進事業（平成24年度採択）」を組み替えたもの。

## 政策目標

- 人材・教育システムのグローバル化による世界トップレベル大学群を形成し、大学の国際競争力を向上させるとともに、グローバル化に対応する人材を育成する。

# 大学の世界展開力強化事業

(平成25年度予算額：28億円)  
平成26年度概算要求額：28億円

国際化拠点整備事業費補助金

## 背景・課題

- わが国の学生が内向き指向にあると指摘される中、世界で活躍する優れた人材の育成を強化するため、国際的に誇れる大学教育システムを構築するとともに、日本人学生等の海外交流を促進し、質の高い外国人学生の戦略的獲得等を図ることが重要な課題。

## 対応・内容

### 【対応】

- 大学教育のグローバル展開力の強化を図るため、アジア・米国・欧州等、我が国にとって戦略的に重要な国・地域との間で、質保証を伴った日本人学生の海外留学と外国人学生の受入を推進する国際教育連携の取組を支援。

### 【内容】

- ロシア、インド等との大学間交流形成支援 3億円【新規】  
58,250千円 × 6件  
ロシア、インド等の大学との高等教育制度の相違を超えた、質保証の共通フレームワークの形成に加え、将来の日露・日印関係を見据えた産学連携の取組等を実施する、架け橋となるリーダー人材育成のための教育連携プログラム。
- 「キャンパス・アジア」中核拠点支援 8億円  
平成23年度選定分 48,665千円 × 10件  
平成22年度選定分 56,927千円 × 6件
- 米国大学等との協働教育創成支援 6億円  
平成23年度選定分 48,665千円 × 12件
- ASEAN諸国等との大学間交流形成支援 7億円  
平成24年度選定分 41,011千円 × 14件  
平成23年度選定分 48,660千円 × 3件
- 海外との戦略的高等教育連携支援 3億円  
平成26年度選定分 3,000千円 × 4件  
平成25年度選定分 38,353千円 × 7件  
3,000千円 × 2件

注) 以下の継続事業等については、概要を省略

## 政策目標

- アジア及び米国・欧州等との高等教育ネットワークの構築を図ることにより、我が国の大学のグローバル展開力を強化。

# 大学等の留学生交流の推進

(平成25年度予算額：335億円)  
平成26年度予定額：355億円

(内訳)	政府開発援助外国人留学生給与	167億円(167億円)
	留学生交流支援事業費補助金	82億円(49億円)
(独)	日本学生支援機構運営費交付金	55億円(11億円)等

## 背景・課題

世界的に急速なグローバル化が進展し、国際的な学生の流動や国籍を問わない人材獲得競争が激化する中、海外の大学等に留学した日本人は、2004年をピークに減少傾向。

日本人留学生の減少に歯止めをかけるだけでなく、将来グローバルに活躍する意欲と能力のある若者全員に留学機会を付与し、世界で勝てる真のグローバル人材を育成することが急務。

世界的な留学生獲得競争が激化する中、「日本再興戦略(平成25年6月14日閣議決定)」に掲げられた留学生30万人受入れの実現に向け、教育研究の向上や国家間の友好関係の強化に継続して取り組むとともに、諸外国の成長を我が国に取り込み、我が国の更なる発展を図るため、優秀な外国人留学生を戦略的に確保することが必要。

## 対応・内容

### 【対応】

意欲と能力のある若者全員に留学機会を付与し、世界で勝てる真のグローバル人材を育成するため、奨学金の拡充により留学経費の負担軽減を図るとともに、大学、企業等との連携による研修の実施等、日本人学生等の海外留学をきめ細かく支援する官民が協力した新たな制度を創設する。

グローバル社会で活躍できる人材育成の促進や我が国の高等教育機関の国際競争力強化、留学生30万人受入れの実現を図るため、優秀な外国人留学生の戦略的な受入れを推進し、グローバル人材育成に必要な環境の整備・充実を図る。

### 【内容】

大学等の海外留学支援制度の創設等 86億円

大学等の海外留学支援制度の創設 85億円

・海外留学のための奨学金支給による経済的負担の軽減

・長期派遣[1年以上]

学位取得を目指し、海外の大学院に留学する学生に  
奨学金を給付(200人 250人)

- ・短期派遣[1年以内]  
大学間交流協定等に基づき海外の高等教育機関に  
短期留学する学生に奨学金を給付(10,000人 20,000人)
- ・双方向交流の推進による日本人学生の海外留学促進
  - ・短期受入れ[1年以内]  
大学間交流協定等に基づく短期留学生に奨学金を給付(5,000人)

日本人の海外留学促進のための広報活動等【新規】 1億円

---

**優秀な外国人留学生の戦略的な受入れ 269億円**

日本留学への誘い及び入り口の改善 6億円

- ・留学コーディネーター配置事業(3拠点)【新規】
- ・現地における入学許可の推進等  
日本留学試験の実施(17都市)等

大学等のグローバル化の推進【再掲】

- ・スーパーグローバル大学等事業
- ・大学の世界展開力強化事業

受入れ環境づくり 250億円

- ・外国人留学生奨学金制度
 

国費外国人留学生制度	11,006人	11,260人(254人増)
文部科学省外国人留学生学習奨励費		7,785人

 大学等の海外留学支援制度の創設  
 <短期受入れ>5,000人【再掲】
- ・留学生交流拠点整備事業(10拠点)等

**政策目標**

官民が協力した新たな制度を創設することにより、日本から海外への留学者に対する支援の充実を図る。

また、優秀な外国人留学生を戦略的に確保するための取組の充実を図る。